



# まほろばの丘から



令和3年6月23日 文責 校長 江口 尋信

## 地域とのつながり

太宰府西小学校はコミュニティ・スクールです。「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会を設置している学校のことです。学校・家庭・地域の三者が、校区の中で共に子どもを育てていくことを大きな目的としています。そういった意味で、コミュニティ・スクールの教育活動は「共育（共に育てる）」活動であると言えます。学校は教育の専門機関としての役割を、家庭は子育ての主体としての役割を、地域は教育の支援者としての役割を果たすことで、よりよく子どもたちを育てていこうとするものです。5月11日に開催された第1回学校運営協議会では、学校、家庭、地域の役割について、それぞれ次のように確認しました。

学校の役割	家庭の役割	地域の役割
○学習文化が根付いた学校 (自ら学ぶ子どもが育つ学校)	○学習環境を整え、学習習慣を身に付けさせる家庭	○様々な体験活動を通して、考え行動する力を育む地域
○人権文化が根付いた学校 (自他を大切にすることが育つ学校)	○子どもの話に耳を傾け、受容と共感のある家庭	○チャレンジする場を提供し、鍛えて褒める地域
○健康文化が根付いた学校 (心身の健康の維持・増進を図る子どもが育つ学校)	○基本的な生活習慣により、心身の健康を維持・増進する家庭	○学年や年代を超えたたような人間関係を体験させる地域

学校、家庭、地域の三者が、子どもを中心に同じ方向を向いて共育活動をおこなえば、その効果は $1 + 1 + 1 = 「3」$ になりますが、お互いが反目し合えば、 $1 - 1 - 1 = 「-1」$ となるかもしれません。上の表の内容をそれぞれの役割だと考え、子どもたちのために力を合わせていきたいと思っています。

6月21日の委員会活動において、本校地域コーディネーターの松崎亜紀さんがコミュニティ委員会に来て、子どもたちに公民館と自治会長さんを紹介してくださいました。こういった取組が、子どもたちと地域をつないでいきます。



コミュニティ委員会で子どもたちに話す松崎さん

## 一人1台タブレット端末

子どもたちの学びの個別化・最適化を図ることを目的に、太宰府市から一人1台のタブレット端末が配付されました。現在、デジタルドリルの使い方、カメラ機能の使い方、Teamsによるオンライン会議の仕方などを学習しています。学級担任と高口主幹教諭、ICT支援員さんなどが各学級で指導を行っていますが、低学年の子どもたちも予想以上に上手に操作しています。わたしたち教職員も研修を重ねているところです。今後、機会があればぜひタブレットを使った学習の様子を参観していただければと思います。



タブレットの使い方の学習